

第103期 第2四半期

株 主 通 信

2016年4月1日～2016年9月30日

KITZ

株式会社 キッツ

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当第2四半期におけるわが国経済は、企業の生産活動が底堅く推移するなど緩やかな回復基調となりました。海外では、米国経済が、良好な個人消費や雇用環境に支えられて堅調に推移する一方、中国及びその他周辺新興国の経済は低迷し、欧州においても先行き不透明な状況が継続しました。

このような状況の中、主力のバルブ事業及び伸銅品事業において大幅な減収となり、連結売上高は前年同期比8.5%減の549億41百万円となりました。一方、損益面では、営業利益は、前年同期比19.0%増の42億93百万円、経常利益は、同18.6%増の40億84百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益も、同11.7%増の26億67百万円と、減収ながら増益とすることができました。

なお、当第2四半期末の配当金は、1株につき6円とさせていただきます。

厳しい経営環境が継続することが予想されますが、当期よりスタートした「第3期中期経営計画」を達成すべく、役員・従業員一丸となって収益の向上に努めてまいります。

株主の皆様には、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2016年12月

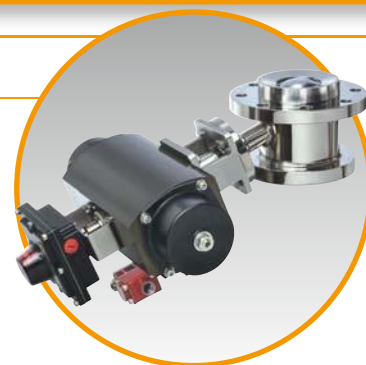
代表取締役社長 堀田 康之



製品紹介

自動操作式フラッシュボトムボールバルブ

2015年にキッツグループに入った Micro Pneumatics Pvt. Ltd.(インド)で製造・販売しているボールバルブ。薬品及び食品の原料等を混ぜたり、反応させたりするタンクに設置されます。高度な衛生管理が求められる流体に使用されるため、接液部に精密研磨を施しています。また、組み付ける空気圧式アクチュエータは、お客様の要求に合わせた仕様での対応が可能です。



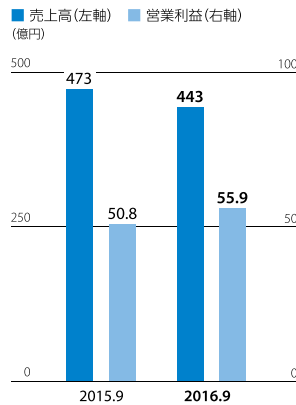
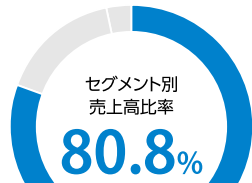
Micro Pneumatics Pvt. Ltd.

工業(薬品、食品、石油)用自動ボールバルブ及びバタフライバルブの製造・販売

当第2四半期の概要

セグメント別売上高・営業利益

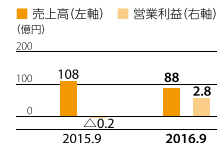
● バルブ事業



売上高は、国内向けはほぼ前期並みとなったものの、海外向けは原油価格低迷による設備投資の抑制、中国や周辺新興国経済の減速及び円高の影響により、北米及びアジアで大幅に減少し、前年同期比6.3%減の443億93万円となりました。営業利益は、販売数量の減少や競争激化に伴う販売価格の低下はあったものの、原材料安、製造コスト削減の他、円高による海外生産品の仕入れコストの減少もあり、前年同期比10.1%増の55億94万円と、減収ながら増益とすることができました。

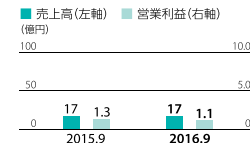
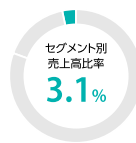
● 伸銅品事業

売上高は、原材料相場の上落に伴う販売価格の低下などにより、前年同期比18.7%減の88億43万円となりました。営業利益は、原材料相場が安定的に推移したことなどにより、2億84万円となり黒字に転換しました。



● その他

売上高は、ホテル事業における夏の天候不順の影響による集客不振もあり、前年同期比2.9%減の17億4千万円、営業利益は20.3%減の1億11百万円となりました。



第3期中期経営計画 (2016～2018年度) の数値目標 (2016年5月策定)

	2015年度 実績	2016年度 計画	2017年度 計画	2018年度 計画
売上高	1,172億円	1,115億円	1,150億円	1,200億円
営業利益	72億円	80億円	90億円	100億円
経常利益	73億円	77億円	87億円	97億円
親会社株主に 帰属する当期純利益	49億円	50億円	57億円	63億円
営業利益率	6.2%	7.2%	7.8%	8.3%
海外売上高比率	31.7%	31.8%	32.7%	34.2%
ROE	6.6%	6.6%	7.2%	7.7%
自己資本比率	62.9%	63.9%	64.7%	64.0%

● セグメント別売上高

	2015年度 実績	2016年度 計画	2017年度 計画	2018年度 計画
バルブ事業	935億円	920億円	950億円	1,000億円
伸銅品事業	205億円	164億円	165億円	165億円
その他	31億円	31億円	35億円	35億円

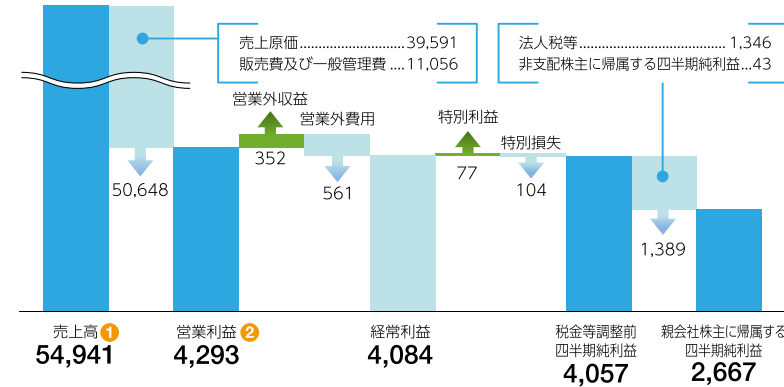
● セグメント別営業利益

	2015年度 実績	2016年度 計画	2017年度 計画	2018年度 計画
バルブ事業	103億円	110億円	119億円	131億円
伸銅品事業	△0.1億円	2億円	3億円	1億円
その他	0.7億円	1億円	1億円	1億円

連結損益計算書の概要

当第2四半期 (2016年4月1日～2016年9月30日)

(単位: 百万円)



Point ①

売上高
バルブ事業において、北米及びアジアで大幅な減収となった他、伸銅品事業も販売価格の低下及び販売量の減少により大幅な減収となったことなどにより、前年同期比8.5%減の549億41百万円となりました。

Point ②

営業利益
製造コスト削減の他、円高による海外生産品の仕入れコストが減少したことなどにより、前年同期比19.0%増の42億93百万円となり、減収ながら増益とすることができました。

Point ③

総資産
売上債権及び棚卸資産が減少したことなどにより、前期末に比べ51億60百万円減少しました。

連結貸借対照表の概要

前期末 (2016年3月31日)	当第2四半期末 (2016年9月30日)	前期末 (2016年3月31日)	当第2四半期末 (2016年9月30日)
資産 合計 119,422	資産 合計 114,261	負債純資産 合計 119,422	負債純資産 合計 114,261
流動資産 63,501	流動資産 59,405	流動負債 19,040	流動負債 16,034
固定資産 55,920	固定資産 54,855	固定負債 24,284	固定負債 25,362
有形固定資産 38,788	有形固定資産 37,889	株主資本 70,875	株主資本 71,400
無形固定資産 5,545	無形固定資産 5,816	その他の包括 利益累計額 4,194	その他の包括 利益累計額 500
投資その他の資産 11,586	投資その他の資産 11,149	非支配株主持分 1,027	非支配株主持分 964
		純資産 76,096	純資産 72,864

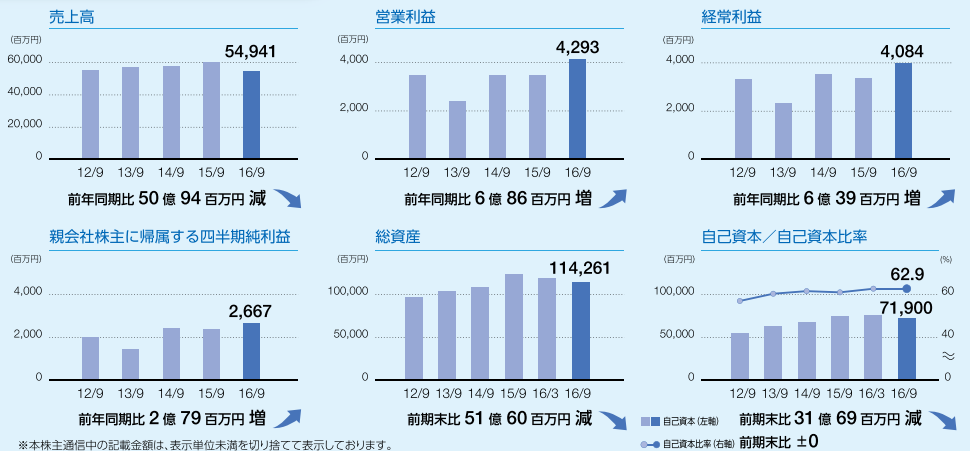
Point ④

負債
買掛金及び設備未払金が減少したことなどにより、前期末に比べ19億28百万円減少しました。

Point ⑤

純資産
親会社株主に帰属する四半期純利益26億67百万円の計上はありましたが、配当金の支払いや自己株式の取得を行った他、為替相場の変動により、為替換算調整勘定が大幅に減少したことなどにより、前期末に比べ32億32百万円減少しました。

主要連結財務指標の推移



※本株主通信中の記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

アジアに2拠点を開設

キッツグループは、海外において、それぞれの市場環境に
応じた販売・サービス及びマーケティング体制を強化してい
ます。

■KITZ Corporation of Koreaについて

KITZ Corporation of Koreaは、2013年9月に韓国・ソ
ウル市に設立した駐在員事務所を、2016年8月に本格的な
営業拠点に移行したものです。これにより、韓国市場におけ
る代理店網の拡充及び韓国のプラントエンジニアリング会
社への営業強化を進めるとともに、グループ会社による半
導体装置市場への拡販を支援してまいります。

所在地	韓国・ソウル市
事業内容	各種バルブの販売
設立	2016年8月

■KITZ Corporation of Asia Pacific Pte. Ltd.
ベトナム駐在員事務所について

重点地域の一つであるアセアンにおいては、販売会社を
シンガポールとタイに展開していますが、2016年6月、今後、
大きな伸びが期待できるベトナムに、同地域の統括会社
KITZ Corporation of Asia Pacific Pte. Ltd.の駐在員事
務所を開設しました。今後も、世界各地のお客様のご要望に
お応えするための体制を整えてまいります。

統合報告書「コーポレートレポート2016」を発行

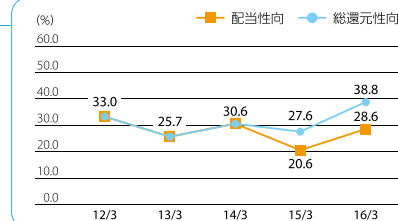
株主・投資家をはじめとするステークホルダーの皆様に、キッツグループの持続
的な成長に向けた取り組みをお伝えするため、統合報告書「コーポレートレポート
2016」を発行しました。国際統合報告評議会(IIRC)が提示するフレームワークを参
照に、財務情報(決算情報や財務的な指標等)と非財務情報(人財に関する考え方
や環境・社会的責任、ガバナンス等)を統合。企業の中長期的な経営戦略、今後の成長性
などを一貫性のあるストーリーにより構成しています。

「コーポレートレポート2016」は、日本語版、英語版、中国語版ともに、キッツホーム
ページからご覧いただけます。



自己株式の取得

2018年度を最終年度とする第3期中期経営計画において、
総還元性向の目標を従来の3分の1前後から、自己株式の取
得にさらに積極的に取り組み、株主の皆様への利益還元をよ
り一層充実させることを掲げています。この方針に基づき、
2016年6月から7月にかけて、229万8千株の自己株式を
取得しました。



個人投資家向けに会社説明会を実施

2016年8月、SMBC日興証券と日興アイ・アールが共同運
営する「IRフォーラム2016 summer」において、昨年に続き
個人投資家に向けて会社説明会を実施しました。

説明会には、定員を上回る約270名が出席。堀田社長より
「キッツの強みと成長戦略」についての説明を行いました。



東京ドームに広告看板を設置

2016年6月より、東京ドーム レフトポール上段壁面に広告
看板を設置しました。東京ドームを訪れるお客様をはじめ、プ
ロ野球の試合やイベントのテレビ中継及びニュース等を通し
て、当社のイメージアップと認知度向上を図ってまいります。



社会貢献活動

清水合金製作所／熊本地震被災地に「アクアレスキュー」を緊急出動



被災地に設置された「アクアレスキュー」。沢の水から
河川水、井戸水などさまざまな原水に対応する、可搬式
でオールインワンの高性能な浄水装置です。

キッツグループの清水合金製作所が、熊本地震の被災地に浄水装置「アクア
レスキュー」を設置し、飲用水の供給を行いました。

清水合金製作所では、地震発生4日後の2016年4月18日に、熊本県菊陽
町から「水道水に濁りが発生し困っている」との連絡を受け、応急給水支援
チームを結成し、直ちに現地に出発。翌日、被災地に「アクアレスキュー」1基、
給水用タンク、給水栓を設置し、運転調整と水質試験を経て、20日から「光の森
給水所」として、飲用水の供給を開始しました。

給水所では、「アクアレスキュー」を自動運転することにより、24時間の給水が
可能になり、避難所以外からも給水のため多くの方が訪れていました。

今後も皆様のお役に立てるよう、緊急時の支援体制を整えてまいります。

諏訪湖マラソンに協賛



写真：長野日報提供

2016年10月23日、第28回諏訪湖マラソンが、諏訪湖を周回する
日本陸連公認のハーフマラソンコースで行われました。当日は、長野県
内外から集まった約8,000人の市民ランナーがそれぞれの体力、目標
に合わせて力走しました。

諏訪市は、創業者 故・北澤利男の出身地であり、現在もキッツグルー
プの多くの事業所が近隣に所在しています。キッツは地域貢献活動の
一環として、諏訪湖マラソンに毎年協賛。今年の開会式では、スポン
サーを代表して堀田社長が「自分の目標に向かって、元気に走ってくだ
さい」と挨拶しました。

株式の状況

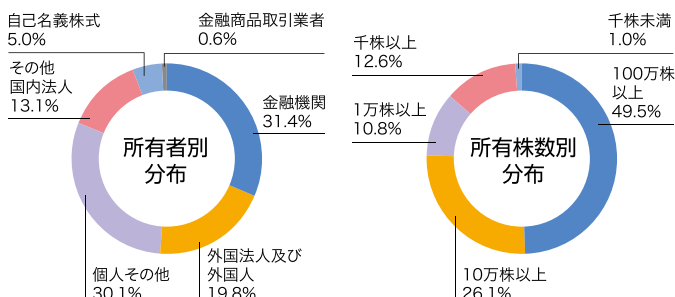
- 発行可能株式総数 400,000,000株
- 発行済株式の総数 104,916,348株

(注) 上記の発行済株式の総数には、当社が2016年9月30日に保有する自己株式5,480,163株を含んでおりません。

- 株主数 11,037名
- 大株主

株主名	当社への出資状況 持株数(千株) 持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	10,142 9.67
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	5,642 5.38
日本生命保険相互会社	4,378 4.17
北沢会持株会	4,081 3.89
公益財団法人北澤育英会	3,411 3.25
住友生命保険相互会社	3,275 3.12
キッツ取引先持株会	3,074 2.93
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	2,870 2.74
株式会社みずほ銀行	2,553 2.43
株式会社三井住友銀行	2,553 2.43

- (注) 1. 当社は、2016年9月30日現在、自己株式5,480千株を保有しており、上記大株主から除外しております。また、持株比率は、発行済株式の総数から自己株式を除いて計算しております。
2. 当社は「役員報酬BIP信託」を採用しており、当該信託が所有する当社株式347千株は上記自己株式に含めておりません。
3. 上記の持株数には、信託業務に係る株式を次の通り含んでおります。
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) 10,142千株
4. 日本生命保険(相)の持株数には、特別勘定年金口75千株を含んでおります。
5. 住友生命保険(相)の持株数には、変額口82千株及び特別勘定43千株を含んでおります。



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会議決権 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 その他必要ある場合は、あらかじめ公告いたします。
公告掲載方法	電子公告 ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 公告掲載URL (http://www.kitz.co.jp/)
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711 (通話料無料)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主優待のご案内

キッツは株主様からのご支援に対する感謝の気持ちを込めて、株主優待を実施しています(3月末現在、ご所有株式数1,000株以上)。

● オリジナルクオカード

- | | | |
|----------|---------|----|
| 1,000株以上 | 1,000円券 | 1枚 |
| 2,000株以上 | 2,000円券 | 1枚 |
| 3,000株以上 | 3,000円券 | 1枚 |



● グループ会社優待券

キッツグループの商品・サービスより、家庭用浄水器及びホテルの各種優待券をご用意しています。

● 北澤美術館 ガラス工芸品カレンダー 1部

長期保有の株主様及び新規の株主様を対象とした優待を新設しました。

● 長期保有株主優待

2016年3月末現在、5年以上かつ1,000株以上ご所有の株主様につきましては、従来からの優待に加え、北澤美術館 日本画カレンダーの大判サイズまたは卓上サイズ、寄付より1点お選びいただけます。

● 新規株主様への優待

9月末現在、新規で1,000株以上ご所有の株主様に、北澤美術館 ガラス工芸品カレンダーを1部お送りいたします。

会社概要

(2016年9月30日現在)

商号	株式会社キッツ
本社	千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目10番1 TEL (043) 299-0111 (大代表)
代表者	代表取締役社長 堀田 康之
資本金	21,207,084,670円
設立年月日	1951年1月26日
従業員数	(単体) 1,284名 (連結) 4,568名

■ ウェブサイトのご案内

企業情報の他、決算情報や財務データなどを掲載しています。



<http://www.kitz.co.jp/>